



No.7

天候・環境に左右されないドローン飛行/撮影 による現地現況リモート把握

サイトセンシング株式会社

提案の背景

つくば市(そして日本全体の)地域課題:

- ▶ 防災体制の構築
- ▶ 公共施設やインフラの維持

被害状況・既存施設/インフラの現況把握は、ドローンに偵察させれば済む筈

しかし、ドローン、実は...

- ・悪天候下や非GPS下が苦手
- ・意外に自由に飛べない

トライアル概要

本トライアルでは試作機を用い、ドローンの三大弱点の内まず耐風能力を実証する

- 大目標
- 現状ドローンの三大弱点: 強風・非GPS環境・自動飛行の内まず強風に着目
 - 強風(20m/s) 対抗力の立証
 - 現地偵察のドローン用途としての可能性提示

- ◆ 場所: 強風となり易い 河川敷・(農業用)ダム周辺
- ◆ 実施内容: ドローン飛行/撮影 1セット5分×数回
翌日、撮影画像の吟味
- ◆ 実施時期/回数: 2023年1~3月/2~3回
- ◆ リスク: 適切な場所探しが、つくば市側で難航
➡ 風洞実験場を当社側で確保

期待される効果・実現する未来社会

①SDGsと整合する世界的課題解決に貢献する。

- ・第9目標: 強靱なインフラ構築、持続可能な産業化の促進
- ・第11目標: 持続可能な都市、及び、人間居住の実現

②河川増水の現状の近隣住民への迅速な避難勧告発信は、防災体制の強化となる。



③既存施設の劣化現況リモート把握により、メンテナンス作業効率が大幅に向上する。

